

## 議事録

会議等の名称	第3回東御市病院等運営協議会	開催日時	令和6年3月15日（金） 13時～14時40分
		場 所	市民病院2階研修室
主催者（事務局）	東御市民病院	司会者	岩下事務長
出席者	<p>○委員 武藤会長、青木副会長、掛川委員、千歳委員、高木委員、大塚委員、酒井委員、星山委員、宮下委員、後藤委員</p> <p>○市（事務局） 田丸副市長、岩橋院長、金井部長、中沢部長、齋藤診療所長、黒澤助産所長、岩下事務長、大塚係長、渡辺副主幹、酒井主任</p>		
欠席者	花岡市長		
討議内容及び経過	（発言者名）	（発言内容）	
開会	青木副会長		
会長あいさつ	武藤会長		
市長あいさつ	田丸副市長		
報告事項  (1) 令和6年度病院事業会計予算について	酒井委員	令和6年度は6月の診療報酬改定で外来処方箋や慢性疾患の減点により収入減が見込まれると思うがいかがか。	
	看護部長	高齢者救急の医療体制整備充実を図るなかで地域医療の向上とともに診療報酬改定により結果的に病院収入の増収が見込まれると考えている。	
(2) 市民病院の経営分析について		(特になし)	
(3) 患者満足度向上の取組みについて	後藤委員	入院患者満足度調査の調査対象者のサンプル数が34名と1年を通して見たときに少ない気がするが。	
	事務局	12月中旬から下旬の期間に退院もしくは退院予定の方にアンケートをお願いしました。たしかに人数が少ないと思うので、次回検討をしたいと思います。	
	武藤会長	全体数が少なく、また、時期も短いとシーズンによってばらつきが出てしまい、入院患者さんの全体像が見えにくい。来年度実施する際はよく検討して準備をしていただきたい。	

<p>審議事項</p> <p>(1) 東御市病院事業 経営強化プランの策 定について</p>	大塚委員	なかなか健診の予約が取れない。枠を増やせば増収にも繋がるのではないか。
	院長	コミュニティホスピタルにおいて予防や早期発見は重要な問題である。人員の確保が必要ではありますが、昨年導入したMRIの健診への活用を含め、健診部門の展開を考えていきます。
	高木委員	助産所とうみの行動指針で「住民が気軽に集い安心して子育て（親育て）できる地域づくり」とあるが、具体的にはどのような取り組みか。また性暴力が問題とされている中で、助産所には性教育に力を入れ、地域において役割を担って欲しい。
	助産所長	一つは産後ケア事業。育児に困難を感じたり、育児技術を学びたいという方が利用しており、その中で入所者同士が子育てについて語り合い、困ったことを共有することで、（入所者同士の）ケア、サポート的な側面があると感じています。 もう一つは、サポートクラスの開催。今年度まで助産所職員で行っていたが、来年度からは理学療法士さんや産後ドゥーラさんなど様々な方のクラス開催の場づくりを試みとして始めようとしています。 性教育については、指針には掲げていないがこれまでも市内外様々な小学校、中学校、高校から依頼を受け、内容もブラッシュアップしながら講演活動を続けさせていただいています。
	高木委員	救急医療について、しっかり対応ができているか。
	院長	救急車の受入件数は増えており、また当院は入院される方の多くが緊急の入院であり、救急対応に力を入れてきていると数からは言えます。当院では当院で完結できる重症度の患者さんを積極的に受け、搬送前に判断されない場合は一度受けて高次の医療機関につなぐということを努力しています。広域的に救急受入の課題があるが、当院では若い医師が増えてきていますので積極的に受け、地域のために役割を果たしていきたいと思います。
	高木委員	訪問リハビリについて、訪問診療とのかかわりについて聞きたい。また効果をどのように感じているか。
	院長	ケアマネさんとカンファレンスを行ったり、連絡を取りながら実施しています。当院から退院された方や当院で診察を受けられている方は、状態把握が可能なため、訪問リハビリへの移行がスムーズとなります。逆に訪問リハビリから再入院という場合も引き受けがスムーズにできています。
	掛川委員 青木副会長	広報誌を全戸配布、もしくは範囲を広げていただけると皆さんに市民病院のことを知っていただけたらと思う。

<p>審議事項</p> <p>(1) 東御市病院事業 経営強化プランの策 定について</p>	<p>武藤会長</p>	<p>広報の整備充実という点では市が出す広報誌に病院のコーナ ーを設け、アピールしなければいけないことを分かりやすく お伝えすることが重要である。また、可能な範囲で配布先を広 げることは、住民、病院のどちらにとってもメリットがある。</p>
	<p>武藤会長</p>	<p>これまでの審議をまとめた付帯意見として、</p> <p>1 高齢者救急の体制整備を行うとともに、地域の様々な専 門家等、人材との連携を図りつつ、「コミュニティホスピタル」 の機能充実に努めること。</p> <p>2 コンプライアンス担当部署を設置して、ハラスメント等 のコンプライアンス違反の防止を徹底するとともに、医療安 全の教育・啓発を継続し、安全・安心・快適な病院の実現を図 ること。</p> <p>の2点としたいが、補正・追加等あるか。</p> <p>→ (補正等意見なし) → (事務局答申書作成、朗読) → (全委員了承)</p> <p>それでは、この答申書をもって、この会議の後、会長、副会長 で代表して市長へ答申を行うこととする。</p>
<p>閉会</p>	<p>青木副会長</p>	